

別紙1 速度低下箇所における渋滞対策の概要

速度低下箇所の主な渋滞原因

上り坂やサグ部においては、無意識のうちに速度が低下する車がいることにより、後続車との車間距離が縮まり、連鎖的にブレーキを踏むことにより、渋滞が発生します。
 (最初に速度低下した車は、渋滞の原因となったことに気がつかない)



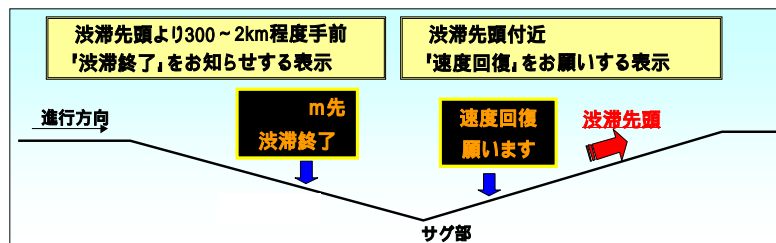
速度低下箇所の主な渋滞対策・効果

・渋滞の先頭付近で「速度低下の注意喚起」を行うことにより、以下の効果を発揮
無意識のうちの速度低下を防止

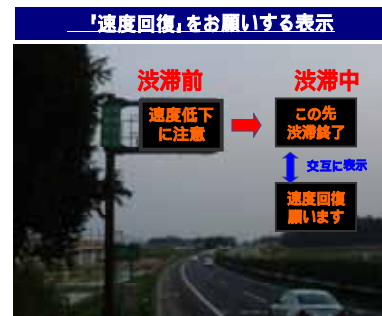
渋滞発生前：この場所は無意識のうちに速度が低下し、渋滞を引き起こす可能性があることを認識してもらうための情報を提供
 (情報提供内容：「速度低下注意」「m先上り坂」)

漫然とした速度低下状態を防止

渋滞時：まもなく渋滞が終了し、速度回復をお願いするための情報を提供(情報提供内容：「m先渋滞終了」「速度回復願います」)



《常設LED情報板を使用したケース》



《LED標識車を使用したケース》

